

～河内晩柑の木成り栽培で地域と自分を元気にする～
吉田 浩さん（愛南町）

[所属・役職等]

(株)吉田農園 代表取締役

愛南町認定農業者協議会長 1967 年生まれ

ホームページ [【www.yoshida-nouen.com/】](http://www.yoshida-nouen.com/)



☆経営概況☆

地元を元気にするという思いから、地元雇用を行いつつ、平成 24 年には経営の法人化を実現。河内晩柑を中心に 13ha の経営面積であるが、現在も面積拡大を展開中。

☆ここがポイント☆

■河内晩柑による経営の転換から飛躍へ

就農後、父親のもとで農業を行っていたが、6 年後経営を引き継いだ。当時、甘夏は低迷していたため、地域の気象に適した河内晩柑に活路を求めた。河内晩柑は他地域での栽培が少なく、収穫期間が長いことが魅力である。

■木なり栽培への挑戦

従来の栽培方法とは異なり貯蔵せず、出荷直前まで樹上で完熟させる「木成り栽培方式」により甘みと酸味のバランスが良くなり、これまで販売時期外であったお中元商材に用いることを可能とし、宅配を中心とした個人販売を実現した。

現在では、顧客数が 25,000 人となっている。

■個人から法人へ

経営規模の拡大と販路拡張が進む中で、従業員が少しずつ増えてきたことに伴い、従業員の待遇を良くするためと地域での雇用促進を図るため、40 代半ば、農業を始めて 25 年で法人化した。現在、スタッフ 10 人となっている。

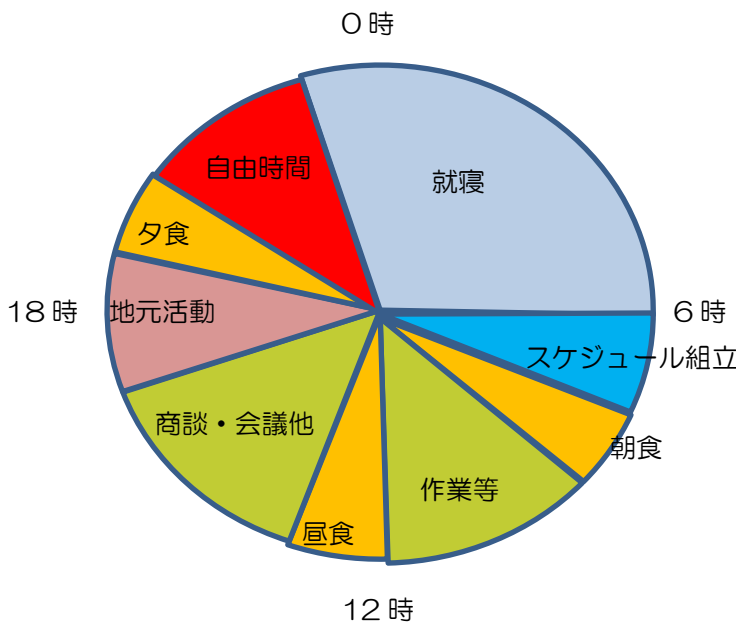


河内晩柑の収穫期判断



出荷繁忙期はスタッフと事務所内で執務

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

若いころは地域のリーグに所属し、ソフトボールやバレー、卓球、将棋、バイクレースなどいろいろなことに挑戦したし、趣味を楽しむことが、農業をする上でやる気や意欲を保つことができた。

現在は、地域貢献を絶えず考え、PTAや子供たちのスポーツ少年団活動、消防といった地域活動の役職を無理のない範囲で務めながら、仕事とのバランスをとっている。3人の子供たちの部活動の送迎や応援といった子育ても大切にしている。

法人化により、商工会や異業種との交流も増え、絶えず参考になることは学ぶ姿勢でいる。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
						会社なので休み
←—————→						←————→



NHKテレビ（食べ物一直線）出演時の吉田さん



ホームページに毎年更新する家族写真

☆これからの夢や目指すもの☆

愛南町を元気にするため、会社も元気にし、地域雇用も今以上実現したい。仕事の充実、家族あってのことなので、家族の幸せも大事。

☆メッセージ☆

愛南育ちの若い人、県内育ちの若い人は、県外に出るのではなく、ともに愛南町や愛媛県の素晴らしさを伝えていきましょう。